

EU Indicators

欧州経済指標コメント：11月ユーロ圏PMI指数(速報)

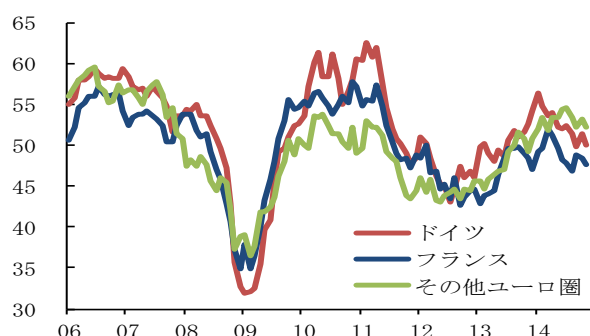
発表日：2014年11月20日(木)

～霧晴れず、新たな不安～

第一生命経済研究所 経済調査部
 主席エコノミスト 田中 理
 03-5221-4527

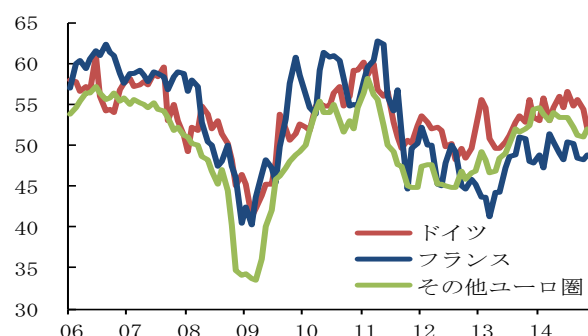
- ユーロ圏のPMI総合指数の11月速報値は改善モメンタムが再び鈍化（前月：52.1→今月：51.4）。好不況の分岐点である50を上回ったものの、16ヶ月振りの水準に低下した。発表元のMarkitによれば、これを10-12月期のユーロ圏の実質GDP成長率に引き直すと前期比+0.1～0.2%に相当。過去2四半期は特殊要因もあり低成長が続いてきたが、10-12月期入り後も景気回復の足取りは極めて鈍い。そのうえ、新規受注判断が昨年7月以来の悪化に転じ、先行きの業況が一段と下振れする恐れがある。
- 国別には、ドイツで前月に50超に復帰した製造業が再失速（51.4→50.0）、これまで54～56程度を維持してきたサービス業が水準を切り下げた（54.4→52.1）。フランスはサービス業の悪化ペースがやや緩和したもの（48.3→48.8）、製造業の悪化ペースが再加速した（48.5→47.6）。ここから、その他ユーロ圏は50超を維持したとみられ、ユーロ圏全体の計数の下支えとなった模様。
- 11月に入ってから、9月の生産・輸出統計の回復、7-9月期GDPでの景気後退回避、11月のZEW景況感の大幅反発と、ドイツ景気の悲観論後退を裏付ける指標が相次いできたが、今回のPMI低下は10-12月期の景気が緩慢な回復にとどまることを示唆。追加緩和に伴うユーロ安進行も製造業の業況改善に結び付いていないうえ、これまでドイツ景気を支えてきたサービス業の業況に翳りがみられる。ユーロ安や原油安の効果が現れる前に、内需が一段と鈍化すれば、景気腰折れのリスクが高まる。

■ユーロ圏：PMI製造業指数



出所：Markit

■ユーロ圏：PMIサービス業指数



出所：Markit

■PMI指数（季節調整済み）

		2013	2014			2014								
		4Q	1Q	2Q	3Q	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
ユーロ圏	総合産出指数	51.9	53.1	53.4	52.8	53.1	54.0	53.5	52.8	53.8	52.5	52.0	52.1	51.4
	製造業PMI指数	51.9	53.4	52.5	50.9	53.0	53.4	52.2	51.8	51.8	50.7	50.3	50.6	50.4
	サービス業業況指数	51.3	52.1	53.0	53.2	52.2	53.1	53.2	52.8	54.2	53.1	52.4	52.3	51.3
ドイツ	総合産出指数	54.5	55.4	55.2	54.5	54.3	56.1	55.6	54.0	55.7	53.7	54.1	53.9	52.1
	製造業PMI指数	52.9	55.0	52.8	51.2	53.7	54.1	52.3	52.0	52.4	51.4	49.9	51.4	50.0
	サービス業業況指数	54.0	54.0	55.1	55.8	53.0	54.7	56.0	54.6	56.7	54.9	55.7	54.4	52.1
フランス	総合産出指数	48.6	49.5	49.3	49.1	51.8	50.6	49.3	48.1	49.4	49.5	48.4	48.2	48.4
	製造業PMI指数	48.2	50.4	49.7	47.8	52.1	51.2	49.6	48.2	47.8	46.9	48.8	48.5	47.6
	サービス業業況指数	48.9	49.2	49.2	49.7	51.5	50.4	49.1	48.2	50.4	50.3	48.4	48.3	48.8

出所：Markit

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。